MOMENTIVE™

製品名	TSC920	整理番号 GJ20200-04

1.製造者情報

1.1 会社名：
モメンティブ·パフォーマンス·マテリアルズ·ジャパン合同会社

1.2 住所：
群馬県太田市西新町１３３番地

1.3 担当部門：
製品安全管理本部

1.4 担当者：
製品安全担当

1.5 電話番号：
0276-31-1468

1.6 FAX番号：
0276-31-3061

1.7 緊急連絡先：

電話番号：0276-31-1468
夜間·休日：0276-31-4118
FAX番号：0276-31-3061

作成日：98年05月18日
改訂日：10年12月6日

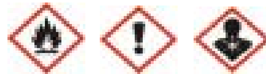
2.危険有害性の要約

2.1 GHS分類

2.1.1 物理化学的危険性	物理化学的危険性	引火性液体　区分2
2.1.2 健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分5
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入·ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入·蒸気）	区分4
	急性毒性（吸入·粉塵、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原生	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分1A
	生殖毒性(母乳影響)	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）　区分1	区分1（中枢神経系）
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）　区分2	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）　区分3　気道刺激性	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）　区分3　麻酔作用	区分3（麻酔作用）
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）　区分1	区分1（中枢神経系、腎臓、肝臓）
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）　区分2	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	区分1
2.1.3 環境に対する有害性	水性環境有害性（急性）	区分2
	水性環境有害性（慢性）	分類できない

2.2 ラベル要素

2.2.1 絵表示またはシンボル



2.2.2 注意喚起語

危険

2.2.3 危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害のおそれ
吸入すると有害
皮膚刺激
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期又は反復暴露による中枢神経系、腎臓、肝臓の障害



飲み込み，気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性

2.2.4 注意書き

安全対策：容器を密閉しておくこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
-禁煙
(製造者/供給者または規制所管官庁が指定する) 保護手袋/
保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
(静電気に敏感な物質を積みなおす場合は、)
(製品が危険有害な気体を発生させるような揮発性の場合
は、)
容器を接地すること/アースをとること。
(製造者/供給者または規制所管官庁が指定するその他…を
含み、) 防爆型の電気機器／換気装置／照明装置／…機器
を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。
取り扱い後、よく手を洗うこと。
(必要な時以外は、) 環境への放出を避けること。

応急措置：(水がリスクを増大させる場合)
火災の場合には、消火に (製造者/供給者または規制所管官
庁が指定する適当な手段) …を使用すること。
吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断手当てを受けること。
特別処置 (このラベルの補足の応急処置指示…参照)
((製造者／供給者または規制所管官庁が指定する洗浄剤を
記載しても良い。)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタク
トレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後
も洗浄を続けること。
眼刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。
暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断／手当てを
受けること。
飲みこんだ場合：直ちに医師に連絡すること。
吐かせないこと。

保管：涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
(製品が危険有害な空気を発生させるほど揮発性の場合)
容器を密閉して換気の良いところで保管する。

廃棄：内容物/容器を(国際、国、都道府県、市町村の規則に従って)
…に廃棄すること。

3.物質の特定

3.1 単一製品･混合物の区別：

混合物

3.2 化学名：

シリコーン溶液 (トルエン)

3.3 成分および含有量：

ポリアルキルシロキサン
トルエン ９０％

3.4 化学式または構造式 (混合物については省略)：

3.5 官報公示整理番号 (化審法)：

３－２
７－４７６

3.6 CAS No：



製品名	TSC920	整理番号 GJ20200-04

社外秘

3.7 国連分類および国連番号： クラス3，1993

3.8 ＰＲＴＲ法

第一種指定化学物質
政令番号３００　トルエン　９０％

3.9 安衛法通知対象物質

政令番号４０７　トルエン ９０％

4.応急処置

4.1 眼に入った場合：

直ちに流水で１５分以上洗い流し、医師の診断を受ける。

4.2 皮膚に付着した場合：

直ちに流水で洗い流し、石鹸でよく洗浄する。症状により医師の診断を受ける。

4.3 吸入した場合：

新鮮な空気のところで安静にし、症状により医師の診断を受ける。

4.4 飲み込んだ場合：

直ちに医師の診断を受ける。揮発性液体を含むので、吐き出させると危険が増す。

5.火災時の処置

5.1 消火方法：

火元への燃焼源を断ち、下記の消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

5.2 消火剤：

泡消火剤・粉末消火剤・二酸化炭素消火剤

6.漏出時の処置

風下の人を退避させる。周辺への人の立ち入りを禁止する。
付近の着火源となるものを取り除く。
作業の際には必ず保護具を着用する。作業は風上により行う。
大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。
少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。

7.取扱いおよび保管上の注意

7.1 取扱い：

取扱いは保護眼鏡、保護手袋、呼吸用保護具を使用する。
引火性があるため、火気厳禁で取扱う。
静電気対策のため装置・機器のアースをする。

7.2 保管：

密閉し、屋内冷暗所に保管する。

8.暴露防止措置

8.1 管理濃度：

２０ppm（トルエンとして）

8.2 許容濃度

8.2.1 日本産業衛生学会：

５０ppm（トルエンとして）

8.2.2 ＡＣＧＩＨ：

TWA２０ppm（トルエンとして）

8.3 設備対策：

全体及び局所排気装置
洗眼器

8.3.1 呼吸用保護具：

有機ガス用防毒マスク

8.3.2 保護眼鏡：

安全眼鏡

8.3.3 保護手袋：

耐溶剤または天然ゴム手袋

8.3.4 防護衣：

長靴、前掛け等

9.物理/化学的性質

9.1 外観等：

無色透明

9.2 臭気：

溶剤臭あり

9.3 沸点：

１１０．６℃（トルエンとして）

9.4 蒸気圧：

２０mmHg／１８．３８℃（トルエンとして）

9.5 揮発性：



大

9.6 融点：
データなし

9.7 比重または嵩比重：
0.87（25℃）

9.8 初留点：
データなし

9.9 溶解度（水）：
不溶

9.10 その他：
データなし

10.危険性情報

10.1 引火点：
2.1℃

10.2 発火点：
450℃

10.3 爆発限界：
上限 7.0％ 下限 1.27％（トルエンとして）

10.4 可燃性：
消防法危険物 第4類 第1石油類に該当

10.5 発火性（自然発火性、水との反応性）：
なし

10.6 酸化性：
なし

10.7 自己反応性・爆発性：
なし

10.8 粉塵爆発性：
なし

10.9 安定性・反応性：
本質的には安定。しかし強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解がおこる。
加水分解性があるため、湿気の混入に注意する。

10.10 その他：
データなし

11.有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

11.1 皮膚腐食性：
データなし

11.2 刺激性（皮膚、眼）：
トルエンとして　ウサギ 435mg;MILD(皮膚)
500mg:MODERATE(皮膚)
2mg/24H;SEVERE(眼)
100mg/30S rinse;MILD(眼)

11.3 感作性：
データなし

11.4 急性毒性（50％致死量等を含む）：
トルエンとして　吸入 マウス LC50 5,320ppm/8H
経口 ラット LD50 5,000mg/kg

11.5 亜急性毒性：
データなし

11.6 慢性毒性：
データなし

11.7 癌原性：
データなし

11.8 変異原性（微生物、染色体異常）：
データなし

11.9 生殖毒性：
データなし

11.10 催奇形性：
データなし

11.11 その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）
データなし

12.環境影響情報

12.1 分解性：
データなし

12.2 濃縮性：
データなし

12.3 魚毒性：
データなし

12.4 その他：
データなし

13.廃棄上の注意



製品名	TSC920	整理番号 GJ20200-04

法律により認可された廃棄物焼却炉などの安全な施設で焼却処理する。

14.輸送上の注意
14.1 国内：

消防法危険物 第４類第１石油類に該当するため火気厳禁で取扱う。

14.2 国外：

海上･航空輸送の場合には、下記の項目を危険物明細書に記入し、船舶所有者および船長、航空会社および機長に提出する必要がある。
分 類：クラス３
項 目：引火性液体
品 名：その他の引火性液体
国連番号：１９９３
容器等級：Ⅱ

15.適用法令

消防法危険物 第４類 第１石油類
安衛法表示対象物質
安衛法通知対象物質
航空法
船舶安全法
安衛法 有機則 第２種
輸出貿易管理令 麻薬原料輸出規制該当製品
ＰＲＴＲ法（化管法）

16.その他
16.1 引用文献：

ＡＣＧＩＨ 化学物質のＴＬＶ
化学品安全管理データブック（化学工業日報社）

16.2 用途上の注意：

本品は、一般工業用途向けに開発･製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社においてその安全性を事前に、ご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

16.3 記載内容について：

その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料･情報･データに基づいて作成していますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合にはその用途･用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。